

おもしろおかしく  
今日より明日へ

父が創業したこの事務所に私が入社した当時、「社員は指示されたことをただこなせばいい」という組織でした。経営状況もあまり良くなく、私は値上げ交渉に走り回る日々。心身ともに疲れ果て、毎朝事務所に行くのが嫌で仕方ありませんでした。

そんな経験から、朝起きた時に「よし！今日も頑張ろう！」と思える事務所にしたい。昨日の自分より今日の自分の方が、ほんの少しでもいいから成長していると感じられる事務所にしたいと考えるようになりました。

そこで、2003年に掲げた社是が、「おもしろおかしく今日より明日へ」。仕事は楽しいものであると感じてほしい。まるでテーパークのように、私たちが仕事をすること楽しく、夢が持てるようになってほしい。そんな想いを込めました。そして、社員が主体的に考え、行動する組織を目指してきました。

もちろん、変革は簡単ではありません。13人いた社員のうち5人が退職するという苦しい時期もありました。しかし、残ったメンバーと一緒に、一つひとつ新しい仕組みを作り、信頼関係を築いてき

# 人間力×テクノロジーで お客様にもっと寄り添い 共に悩みを解決する

創業50年の確かな実績を誇る上坂会計。最先端のテクノロジーを取り入れつつ、社員一人ひとりの専門性と温かな対応を大切に、顧客に寄り添った提案型のサービスを展開しています。日本でも確かな信頼を築きつつ、カンボジアを拠点にアジアへも展開する上坂氏の経営戦略とは。

たのです。

今では、社員全員が自ら考え行動する組織へと成長しました。お客様の悩みを自分ごととして捉え、一緒に解決していく。そのために必要な専門知識や技術は、充実した社内研修で身につけられる環境を整えています。

## テクノロジーを活用し 人間力で勝負する

AIの発達やDXの進展により、会計業界は大きな転換期を迎えています。しかし、私たちは単にテクノロジーを導入するだけでなく、人間力で勝負したいと考えています。お客様に寄り添い、なりたいた姿を聞き、それに対して適切なアドバイスをしていく。そんな、人

います。

当事務所は、freeやマネーフォワードなどのクラウド会計ツールも積極的に活用しています。契約から試算表の確認まで、デジタル化できる業務は最大限効率化を進めています。しかし、それは人間力を高めるための手段。テクノロジーを活用することで、デジタル化できるところは効率的に行い、より多くの時間をお客様との対話に使いたいのです。

## 実務の基礎から経営塾まで 成長の機会を豊富に用意

採用では、20数年前から新卒採用にこだわり続けています。なぜなら、私たちが大切にしているのは、知識や資格といったスキルよりも、素直さ、勉強好き、プラス発想という人間性だからです。長期的な目線で自分の将来を描きながら、目の前のお客様の悩みを解決し、共に働く仲間と助け合う。そんな価値観を共有している組織



になりたいのです。

その人間性を持った上で、入社後は着実なスキルアップを支援します。1年目から3年目までは、実務の基礎を学ぶ研修を細かく設定。特に1年目は、マンツーマンでサポートする教育担当者をおき、仕事だけではなく生活面でも相談できる体制を作っています。さらに、全社員を対象に会計、税務、ITリテラシー、人間力育成のための研修カリキュラムを年間通じて実施しています。

上坂朋宏（うえさかともひろ）  
大手監査法人を経て父の会計事務所に入所。「経営は人間学なり」をモットーに、人を大切に経営を実践。経営塾「鳥瞰塾」は第13期を迎え、高い評価を得ている。税理士の仕事を「天職」と語り、誇りを持って次世代の育成に取り組む。



←ホームページへの  
アクセスはこちら

人材育成の柱となっているのは、私が塾長を務める「鳥瞰塾（ちよかんじゅく）」です。今期で13期を迎えるこの経営塾では、経営

者や経営幹部が身につけるべき経営の原理原則を10のテーマに分けて学びます。鳥が空から全体を見渡すように、経営もあらゆるテーマの基礎や原則を知り、行動していくことが必要不可欠。それが塾名の由来です。入社したばかりの社員を除く全社員が参加し、月4時間の講座を通じて経営視点を養っています。

また、3カ月に1度、上司との面談を通じて一人ひとりの成長をきめ細かくサポートしていく「成長支援制度」も導入。そのほか、社内には簡易図書館を設置するなど、自己啓発の環境も豊富に用意しています。

このような地道な取り組みの結果、平均年齢34歳という若さにもかかわらず、この7〜8年間で早期退職者がほとんどいないという高い定着率を実現しています。

## 働く喜びを支える 健全なコミュニケーション

社員の幸せを第一に考える経営姿勢は、福利厚生にも反映させています。年間120日の休暇制度に加え、ゴールデンウィーク、夏季休暇、年末年始休暇などのほか、産休・育休、介護休暇も用意。ライフステージに合わせた休暇制度を整えています。また、「お客様から給料をいた

だいている」という意識のもと、社内での悪口は禁止。意見がある場合は目の前で伝えること、その際は「こうした方がいいのでは」という建設的な提案を添えることを推奨しています。そんな健全なコミュニケーション環境も、働く喜びを支える大切な要素となっているのです。

こうした取り組みの結果、若さと活力に満ちた組織でありながら社員同士が一致団結して働ける風土が根付いています。

## 国と社会の根幹を支え 持続可能な未来を創る

税理士という仕事は、国の根幹を担う重要な使命を持っています。私たちは単なる税務申告だけでなく、税金を通じて社会と国民の生活を支える役割を担っているのです。私はこの仕事を天職だと感じていますし、誇りを持って取り組んでいます。

AIやテクノロジーの進化により、専門職のあり方はこれから先さらに大きく変化するでしょう。しかし、それを会計を土台とした新しい価値を創造するチャンスだと捉え、新時代のサービスを積極的に開発していこうと考えています。例えば、SDGsを重視した経営支援。SDGsを軸に、どのように収益に結びつけるか。私た



INTERVIEW

# 04

税理士法人 上坂会計  
代表社員 税理士・公認会計士  
上坂朋宏氏

自身もSDGsを中心にした経営をすることで、思いやりや愛情にあふれた事務所にしていききたいですね。

そして、より大きな社会貢献を目指し、10年前からカンボジアに拠点を設け、アジア全体を視野に入れた展開を進めてきました。カンボジアでは、記帳代行の会社と日本の税理士事務所にあたる法人を設立。社員の中には、内戦で親を失った人もいます。混乱から立ち上がるという若者たちの成長を支援しながら、共に未来を創っていきたく考えています。

人間力を大切にしながら、テクノロジーとの調和を図り、お客様に寄り添った提案を行う。税理士という仕事を通じて、持続可能な社会の実現に貢献していく。それが私たちの目指す未来の姿です。

事務所概要	
税理士法人上坂会計	
本社所在地	福井県越前市赤坂町4-1
拠点数	4
創業	1970年
従業員数	54名
平均年齢	34歳